時代	西暦	定山渓のできごと	道内のできごと	国内の主要なできごと
安政～慶応	1854年（安政1年）～1867年（慶応3年）	●松浦武四郎が山道開削のため、缶田を経て豊平峡で調査をする（定山渓に泊）（1858） ●美泉定山がアイヌの人々の道案内で温泉を認め、湯治場をつくる（1866）	●幕府、箱館奉行を置く（1854） ●箱館、通商貿易港として開港（1859）	●日米和親条約調印（1854） ●日英和親条約調印（1854） ●日露和親条約調印（1855） ●安政の大獄（1858） ●日米修好通商条約調印（1858） ●桜田門外の変（1860） ●大政奉還（1867）
明治	1868年（慶応4年・明治1年）～1911年（明治44年）	●定山が岩村裁判官から「湯守」を命じられる（1871） ●本願寺街道（現在の国道230号の前身）完成（1871） ●東久世開拓長官が「定山渓」と命名（1871） ●四季橋（現・月見橋）を架ける（1872） ●大洪水で回春橋が流失、本願寺街道崩壊（1873） ●定山の「湯守」廃止（1874） ●山が小樽・定山渓間の山道を開くため測量を開始（1876） ●定山行方不明後、入滅（1877） ●本願寺街道が改修される（回春橋架かる（1886） ●小金湯温泉始まる（1887） ●定山渓に駅逓所設置（1891） ●定山渓神社創設（1900） ●定山渓鉄道株式会社設立（1911） ●定山渓発電所完成、送電を開始（1907）	●開拓使を設置し、殖産地を北海道と改称（1869） ●移住に1982戸の屯田兵が入る（1875） ●札幌農学校の開校（1876） ●手稲～札幌間に鉄道が開通する（1880） ●開拓使が廃止され、三県（函館・札幌・根室）が設置される（1886） ●三県制を廃止し、北海道庁を置く（1886） ●札幌に煉瓦がつく（1万5400個）（1891） ●北海道教育会が、附属図書館を札幌区大通西4丁目に設置（1899） ●札幌・函館・小樽に区制をしく（1899） ●札幌～小樽間電話通信開始（1900） ●月寒・豊平・平岸の合併により豊平村となる（1902） ●北海道教育会が時計台を借り付属図書館を開設（1911）	●戊辰戦争が勃発（1868） ●廃藩置県が行われる（1871） ●西南戦争が勃発（1877） ●樺太・千島交換条約調印（1875） ●内閣制度が創始（1885） ●大日本帝国憲法が発布（1889） ●日清講和条約調印（下関条約）（1895） ●日露戦争が勃発（1904） ●日露講和条約調印（ポーツマス条約）（1905） ●樺太の北緯50度以南をロシアから受領（1906）
大正	1912年（明治45年・大正1年）～1925年（大正14年）	●定山渓鉄道株式会社設立（1915） ●定山渓鉄道開通（1918） ●小樽新聞が公募した「北海道三景」に定山渓が選ばれる（1923） ●初のガイドブック「定山渓仙境」発行される（1924）	●札幌電気軌道株式会社が電車運転を開始（現在の札幌市電）（1918） ●市政施行（札幌、函館、小樽、旭川、室蘭、釧路）（1922） ●十勝岳爆火（1926）	●明治天皇が崩御し、大正と改元する（1912） ●第一次世界大戦が勃発する（1914） ●パリ講和会議開催（1919） ●関東大震災が起こる（1923）
昭和	1926年（大正15年・昭和1年）～1988年（昭和63年）	●定山渓温泉、一部区間が電化される（1929） ●札幌駅～定山渓のバス運行開始（1932） ●定山渓観音堂建立（1936） ●立憲政治感国立公園に指定（1949） ●札幌市・定山渓となる（札幌市・豊平町合併）（1961） ●かっぱ祭り始まる（1965） ●温泉街ロードピーティング完成（1965） ●国道230号開通（1969） ●豊平峡ダム完成（1972） ●定山渓大橋完成（1978） ●札幌国際スキー場オープン（1978）	●札幌区（現・札幌市）出身の南部平介がロサンゼルスオリンピックに出場し三段跳びで優勝（世界新記録）（1932） ●大雪山国立公園、阿寒国立公園（現・阿寒摩周国立公園）、国立公園指定（1934） ●北海道大、国の天然記念物に指定（1937） ●運河の開削「北海タイムス」ほか十紙が統合され「北海道新聞」が誕生（1942） ●有珠山の噴火活動により、昭和新山隆起（1944） ●北海道空襲（1945） ●札幌市立図書館が開計台で開館（1950） ●川上郡美子岳出身の大鵬幸喜が横綱昇進（第48代）（1961） ●日本最北の動物園である旭山動物園開園（1967） ●冬季札幌五輪大会開催（1972） ●札幌市が政令指定都市へ移行し、各区で業務開始（1972） ●余市郡大江村出身の笠谷幸生が日本史上初の冬季五輪金メダル獲得（スキージャンプ70メートル）（1972） ●有珠山が噴火（1977） ●日本最大の湿原・湿地である釧路湿原をラムサール条約登録（1980） ●青函トンネル開通（1988） ●新千歳空港開港（1988）	●大正天皇が崩御し、昭和と改元する（1926） ●世界恐慌が日本に波及し、昭和恐慌が起こる（1930） ●満州事変始まる（1931） ●日中戦争が勃発（1937） ●第二次世界大戦が勃発（1939） ●広島及び長崎に原爆投下（1945） ●日本が降伏し第二次世界大戦が終結（1945） ●日本国憲法公布（1946） ●朝鮮戦争勃発（1950） ●対日平和条約・日米安全保障条約調印（1951） ●安保闘争（1960） ●キューバ危機（1962） ●東京オリンピック（1964） ●アポロ11号月面着陸（1969） ●日本万国博覧会（1970） ●沖縄返還（1972） ●石油ショック（1973） ●ロッキード事件（1976） ●日中平和友好条約調印（1978）
平成 1989年（昭和64年・平成1年）～2018年（平成30年）		●定山渓ダム完成（1989） ●メルヘンかっぱ像完成（1991） ●かっぱ源流の郷かけ手湯、長寿と健康の足つぼの湯完成（2001） ●定のふれあい太郎の湯完成（2003） ●定山渓泉質公園完成（2005） ●開湯150周年記念事業開催（2016） ●JOZANKEI NATURE LUMINAREスタート（2016）	●北海道南西沖地震（1993） ●日本最大の石狩炭田閉山（1995） ●道東自動車道、十勝清水～池田間開通（1995） ●北海道初のプロスポーツチーム「北海道フットボールクラブ」（コンサドーレ札幌）が誕生（1996） ●札幌ドーム開業（2001） ●JRタワー開業（2003） ●北海道日本ハムファイターズが本拠地を札幌ドームへ移転（2004） ●駒沢大学附属苫小牧高等学校が夏の甲子園大会初優勝（2004） ●「知床」が世界自然遺産登録（2005） ●北海道日本ハムファイターズが北海道移転後初の日本シリーズ優勝（2006） ●第34回全国国民体育大会（北海道・洞爺湖サミット）開催（2008） ●「アイヌ古式舞踊」が無形文化遺産登録（2009） ●洞爺湖有珠山、世界ジオパーク認定（2009） ●勇払郡苫小牧市出身の鈴木章がノーベル化学賞受賞（2010） ●空港歩行空間（チ・カ・ホ）開通（2011） ●「縄文アットウシ・二風谷イタが国の伝統的工芸品に指定（2013） ●北海道新幹線、新青森～新函館北斗間開通（2016） ●北海道服装美容師地震先生（2018）	●余市郡余市町出身の宝利英がスペシャルエンデバー号に日本人初単独で初めて挑戦（1993） ●日本国憲法（1946） ●教育基本法（1947） ●日米安全保障条約調印（1951） ●日ソ共同宣言（1956） ●日韓基本条約調印（1965） ●沖縄返還（1972） ●日中国交正常化（1972） ●日中平和友好条約調印（1978） ●日米防衛協力のための指針（ガイドライン）（1978） ●男女雇用機会均等法（1985） ●ベルリンの壁崩壊（1989） ●湾岸戦争勃発（1991） ●ソ連邦崩壊（1991） ●PKO協力法（1992） ●阪神・淡路大震災（1995） ●地下鉄サリン事件（1995） ●日韓共同宣言（1998） ●ペルー日本大使館人質事件（1997） ●長野冬季オリンピック・パラリンピック開催（1998） ●アメリカ同時多発テロ（2001） ●イラク戦争勃発（2003） ●サッカーワールドカップ日韓共催（2002） ●リーマン・ショック（2008） ●東日本大震災（2011） ●東京スカイツリー完成（2012）	●昭和天皇が崩御し、平成と改元する（1989） ●消費税導入（1989） ●ベルリンの壁崩壊（1989） ●湾岸戦争勃発（1991） ●阪神・淡路大震災（1995） ●地下鉄サリン事件（1995） ●日韓共同宣言（1998） ●長野冬季オリンピック・パラリンピック開催（1998） ●アメリカ同時多発テロ（2001） ●サッカーワールドカップ日韓共催（2002） ●イラク戦争勃発（2003） ●リーマン・ショック（2008） ●東日本大震災（2011） ●東京スカイツリー完成（2012）
令和 2019年（平成31年・令和1年）～		●国道230号緑石山～定山渓間の4車線拡幅工事の完了（2023） ●四季のせせらぎ」見の足湯完成（2024）	●「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録（2021） ●旭川市出身の北口榛花がやり投げで初の金メダル獲得（パリオリンピック）（2024）	●天皇明仁退位、天皇徳仁即位で令和に改元する（2019） ●新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言が出される（2020） ●東京2020オリンピック・パラリンピック開催（2021） ●大谷翔平がアメリカメジャーリーグ初の50-50を達成（2024） ●大阪・関西万博（2025）